

事故防止のアンケート集計結果



横浜市では平成30年度から、保育教育施設における重大事故を予防し、保育の質の向上を図ることを目的として、市内の保育教育施設すべてを対象に巡回訪問を実施しております。

訪問時には各施設の事故防止への取り組み、現状などをお聞きしておりますが、今回はさらに広くご意見を伺い、今後の訪問にも活用させていただきたく、保育教育施設を対象に、事故防止に関してアンケートを実施いたしました。

ご回答をいただいた園・施設は891か所、回収率は64%になりました。ご多忙中にもかかわらず、ご協力いただきありがとうございます。

アンケート結果から以下のような傾向がみえました。

*職員間の情報共有について…

ほとんどの園が、複数のツールを使っていました。ノートなど書面の連絡だけではなく、必ず口頭でも確認しているというご意見もありました。

*職員間の連携・コミュニケーションについて…

話し合える環境を整える工夫（グループワーク・役割分担等）・風通しの良い雰囲気づくり等、丁寧な関りをされている回答が多くありました。

*ヒヤリハットについて…

事例では、とらえ方が多様であり、園・施設それぞれの考え方や理解に違いがありました。

*事故防止のマニュアルの共有について…

4分の1の施設が、「共有しているが十分とはいえない」という回答でした。その中には園内研修の時間の確保・理解の違い等、課題がありました。

市からの配布物に関する様々なご意見は、今後の情報提供に役立てていきます。

“情報共有”と“ヒヤリハット”については、いただいたご意見を基に、『巡回訪問つうしん』で詳しくお伝えしていきます。

その他、結果報告については次ページ以降をご覧ください。



令和2年11月

こども青少年局 保育・教育運営課

連絡先

045-671-3564

「事故防止のアンケート」結果

1. よろしければ園の種別を教えてください。

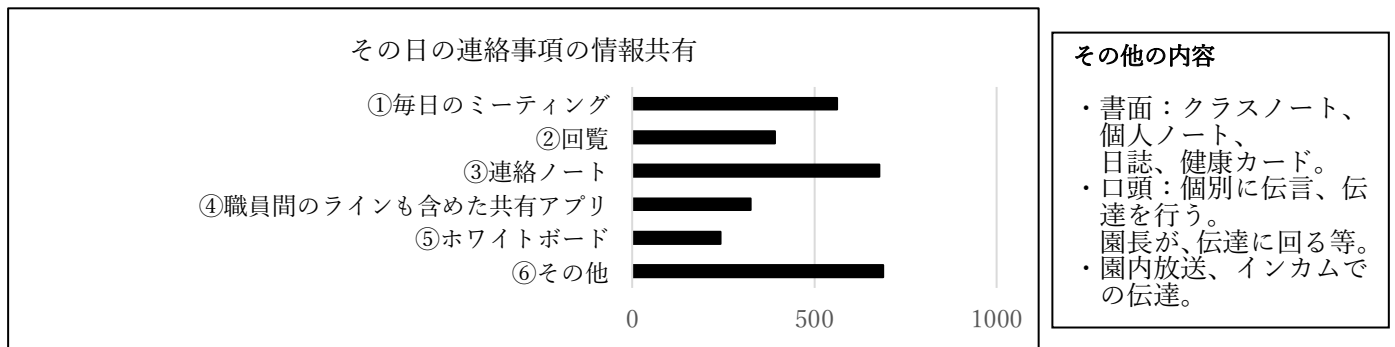
未記入	①認可 保育所	②小規 模保育 事業	③幼保 連携型 認定こ ども園	④横浜 保育室	⑤認可 外	
2	519	167	29	20	154	計/891

2. 現施設での園長、施設長としての在籍年数を教えてください。

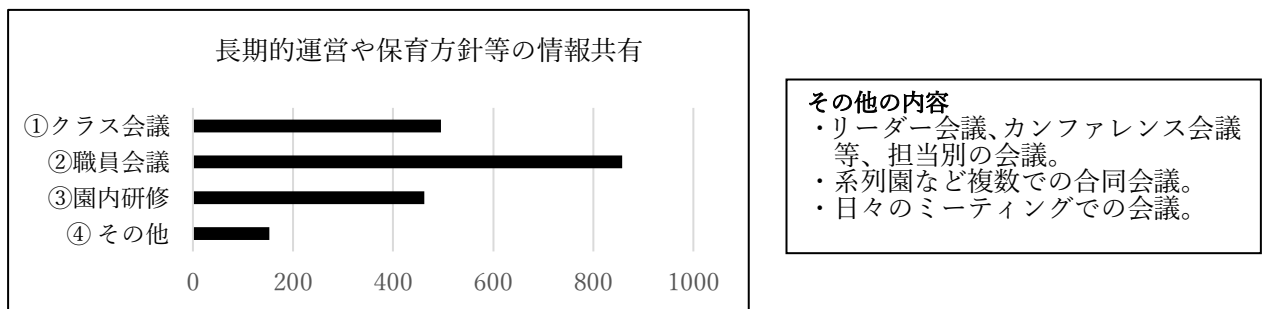
未記入	①3年 未満	②3～ 5年	③6年 以上	
17	395	215	264	計/891

3. 情報の共有化についてお聞きします。

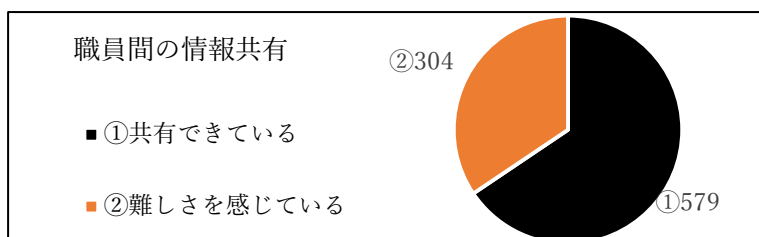
(1) その日気を付けるべき連絡事項についての情報共有はどのように行っていますか。(複数回答可)



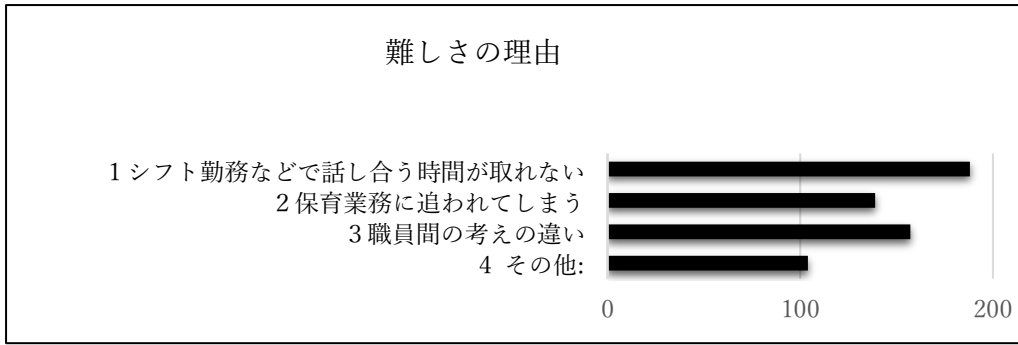
(2) その他長期的運営や保育方針等に係わる情報共有はどのように行っていますか。(複数回答可)



(3) - 1 職員間の情報共有について教えてください。



(3) -2 上の設問で②とお答えになった方：その理由について教えてください。（複数回答可）



その他の内容

- ・職員の入替わりが多く浸透が難しい。
- ・コロナの関係で現在会議が持てない。
- ・日々の共有で細かい部分が伝わりにくい。
- ・受け取り方が異なる。
- ・書面、タブレットを確認し忘れることがある。

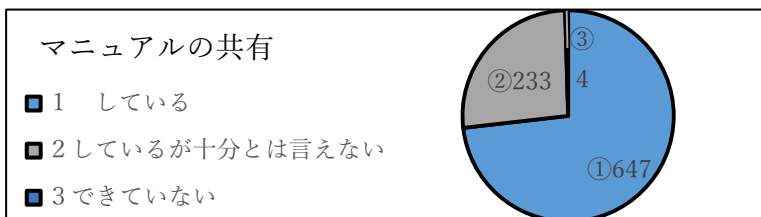
(4) 情報共有で工夫している点を教えてください。（抜粋）

- ・情報共有の発信ツールとして、引継ぎ連絡ノート、ボード、掲示、回覧、アプリの活用、会議やミーティングで周知する。
- ・会議に参加していない人へ報告する時は、伝えるだけではなく意見を聞くことで理解を深め情報共有が確実になる。
- ・発信はわかりやすく、受信は丁寧に、複数のツールを使って行う。
- ・連絡ノートを十分に活用するために、会議記録のとり方の研修を実施している。

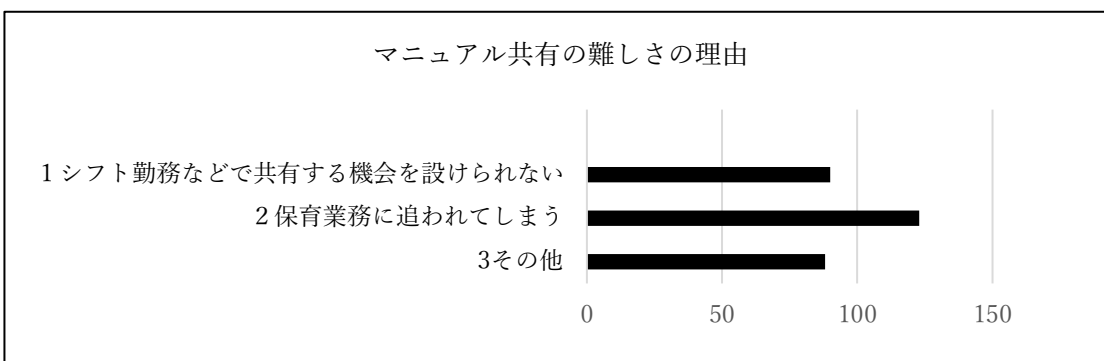
(5) 職員間のコミュニケーションについて日頃より心掛けていることを教えてください。（抜粋）

- ・笑顔で目を見て挨拶を心掛けている。シフト勤務で顔を合わせる程度でも挨拶は必ず行う。
- ・職員全員が自分の意見を発信する風土や風通しの良い雰囲気の中で、保育を語り合い、悩みなどを話す関係づくり。
- ・子どもの成長を喜び合い、楽しいエピソードを話し合える場所、時間の確保。
- ・様々なツールを使い情報を丁寧に伝える。
- ・相手の話を傾聴することを心掛け、労い、感謝を伝え、丁寧な言葉遣い、人権を尊重した関り。
- ・なんでも話合える関係は大切だが、適切な距離感を保つ。

(6) -1 重大事故が発生しやすい場面及び、散歩時の事故発生防止のために作成されているマニュアル（手順、対応、配慮点等）を職員間で情報共有していますか。



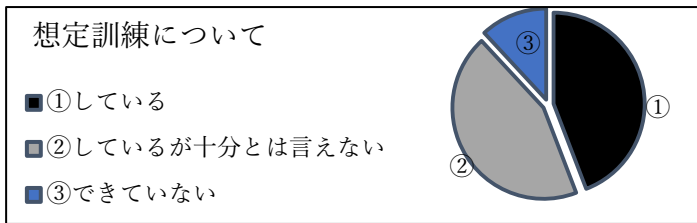
(6) -2 上の設問で②または③とお答えになった方は、その理由について教えてください。（複数回答可）



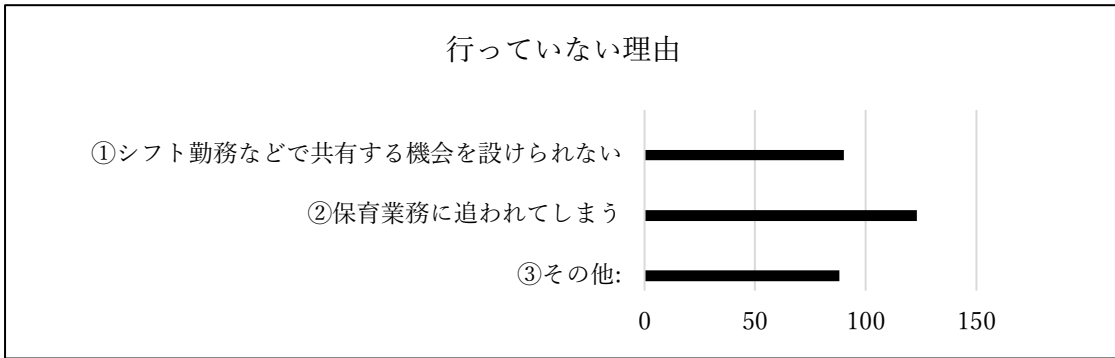
その他の内容

- ・新しい職員の園内研修が追い付かない。
- ・会議等で周知しても、職員個々の理解が異なる。
- ・マニュアルが多く、共有しても職員が忘れてしまうので、繰り返し伝える。

(7) -1 事故発生時を想定したシミュレーションを行っていますか。



(7) -2 上の設問で②、③とお答えになった方、その理由について教えてください。(複数回答可)

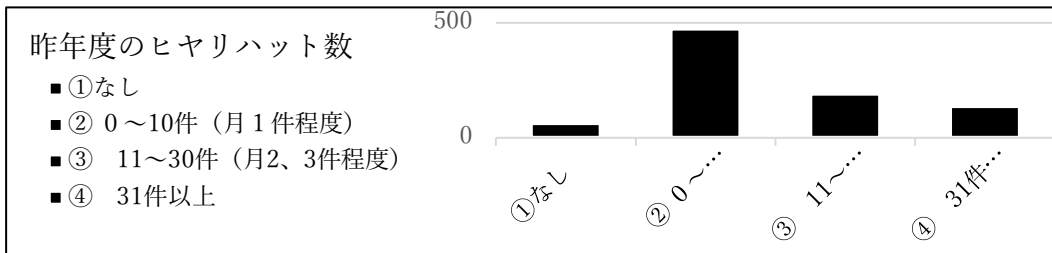


その他の内容

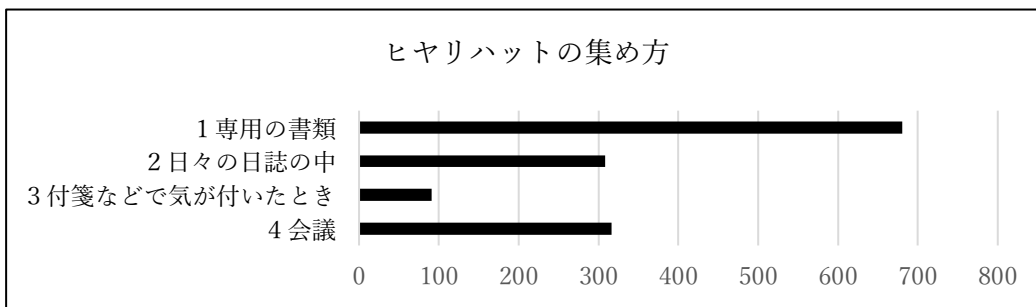
- ・職員の入れ替わりで経験不足になりがち。
- ・自分は大丈夫だと思っている。
- ・さまざまなシミュレーションが必要だと思うのでまだ足りない。
- ・活用しようという意識が薄い、今後訓練の数を増やしていきたい。
- ・具体的シミュレーションが不十分。

4. 施設でのヒヤリハットの取り組みについてお聞きします。

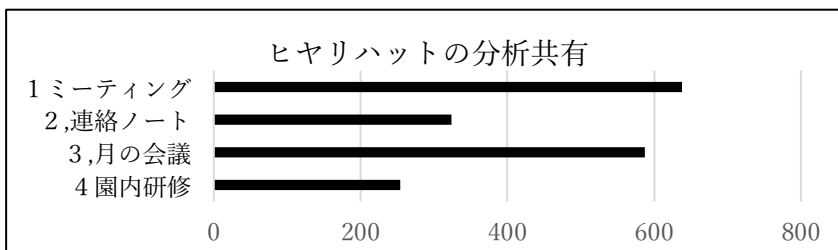
(1) 昨年度ヒヤリハットはどのくらいありましたか。



(2) どのように集めていますか。(複数回答可)



(3) ヒヤリハットをどのように分析共有化していますか。(複数回答可)



(4) -1 昨年度、具体的にどのような場面・項目でヒヤリハットがありましたか（複数回答可）

【ヒヤリハット発生場面別】

食事

1アレルギー対応	2異物混入	3検食	4食材
177	153	13	87

誤飲・誤嚥しそうになったもの

1薬品	2玩具	3栽培物（トマトなど）	4木の実（ドングリなど）	5園内の装飾物（磁石など）
5	210	5	63	29

睡眠

1体位（うつぶせ寝）	2体調変化	3環境（寝ている子どもの口元にタオルがあったなど）
64	21	37

水遊び・プール

1体調把握	2プールサイド・シャワー	3監視体制	4気温・水温・湿度・暑さ指数	5職員の連携・立ち位置
34	44	32	50	74

散歩

1人数点呼	2移動時の安全（交通など）	3目的地での安全点検（遊具・タバコの吸い殻・不審者など）
78	192	246

その他

1保育室（積載物・転倒防止など）	2園庭・門（安全点検）	3廊下（出合いがしらの衝突など）	4登降園時（駐輪場など）
385	190	240	87

(4) -2 上記項目でチェックを付けた項目で、具体的な事例や対策を是非ご紹介下さい。（抜粋）

事例①：屋外の大型遊具のネジを子どもがいじっていた。ネジが緩んでいることがわかりすぐに点検しネジを締めなおした。

事例②：午睡時、髪を結ぶラバーゴムを口の中に入れていた。午睡時には髪ゴムを外してから布団に行くようにした。

事例③：園庭の門扉の下の隙間から子どもがくぐって外に出ようとしていた。門扉の前に木製ベンチのようなものを作り、環境的に改善した。

5. 市から配布した資料についてお伺いします。

(1) 3月に配布した『事故予防と事故対応』の利用状況を教えてください。（複数回答可）

①回覧	②園内研修	③職員会議・ミーティング	④利用していない	⑤その他
706	126	318	42	29

(2) これまでに配布したチラシ『ブレスチェックのポイント』・『「ヒヤリハット」のポイント』。『より良い保育のためのチェックリスト』の利用状況を教えてください。（複数回答可）

①回覧・掲示	②園内研修	③職員会議・ミーティング	④保護者への啓発	⑤利用していない	⑥その他
763	156	383	159	19	23

(3) 事故防止の観点からより詳しく知りたい項目はありますか（複数回答可）

①事故防止のための具体的な取り組み	②事故が発生した時の対応について	③事故が発生した後の、事故の検証や報告といった対応	④保育中のヒヤリハットについて	⑤市内の事故事例	⑥事故対応フロー図	⑦その他
485	393	315	333	294	229	7

6. 園での取り組みの中で、事故防止や情報共有で有効だったことがありましたら教えてください。(抜粋)
- ・マニュアルやハザードマップは一目でわかるように可視化。
 - ・保護者も一緒に危険箇所を出してもらい、改善や園の約束に取り入れていく。
 - ・日頃から会話の発信、受信しやすい雰囲気づくり、共有の大切さを毎月、研修で学んでいる。
 - ・ラインや共有アプリを活用している。速い情報共有には有効。
 - ・横浜市より送られている、チラシ等を園内研修で使用している。
 - ・専用のアプリを導入し、職員がヒヤリハットを入力しやすくしている。名前が多く上がる子や場所、キーワードがグラフやランキングで集計されるため、危険箇所や場面の共有がしやすい。可視化されている
7. 感染予防のために工夫していることがありましたら教えてください。(抜粋)
- ・手洗い等の大切さや手順を子どもたちに視覚や歌でわかりやすく伝える。
 - ・消毒・清掃は、もれの無いようにチェックリスト、記録簿等で職員間の共有を図っている。
 - ・菌を室内に持ち込むリスクを減らすため、送迎時は玄関対応にしている。
 - ・保護者への情報提供のため、複数のツールを活用し注意喚起している。
 - ・全職員が適切な対応を行うために、定期的にマニュアルの確認や複数回の園内研修を行っている。
8. 事故防止や情報共有で困っていること、悩んでいることがありましたら教えて下さい。(抜粋)
- ・複数のツールで情報共有を行っているが、個々によって受け止め方や危険意識の違いがある。
 - ・周知徹底や、事故の事例を自分事として捉えられるように、話し合いの時間や、職員の意見を聞く時間をとりたい。
 - ・ヒヤリハット報告を情報共有しているが、ヒヤリハットの捉え方が違い、話し合う時間がとれない。
 - ・事故防止のために子どもの行動を予測し、環境の改善をするが、子どもの発達の特徴を押さえることが難しい。
 - ・子どもの「やりたい」気持ちに応えたいが、発達の保障と遊びの制限のバランスが難しい。
 - ・日々の保育が最優先で研修になかなか参加できない。同じ研修にでて、個々によって受け止め方が違う。
 - ・事故に対するシミュレーションができていないので、事故発生時を想定した訓練が必要と思う。

